

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-113709

(P2004-113709A)

(43) 公開日 平成16年4月15日(2004.4.15)

(51) Int.Cl.⁷

D06F 25/00

D06F 37/28

D06F 39/04

D06F 39/12

F I

D06F 25/00

D06F 37/28

D06F 39/04

D06F 39/12

テーマコード (参考)

3B155

審査請求 有 請求項の数 7 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願2002-285274 (P2002-285274)

(22) 出願日 平成14年9月30日(2002.9.30)

(71) 出願人 000003078

株式会社東芝

東京都港区芝浦一丁目1番1号

(74) 代理人 100083161

弁理士 外川 英明

(72) 発明者 齋藤 達也

愛知県瀬戸市穴田町991番 株式会社東

芝愛知工場内

(72) 発明者 西村 博司

愛知県瀬戸市穴田町991番 株式会社東

芝愛知工場内

(72) 発明者 河野 哲之

東京都港区芝浦一丁目1番1号 東芝ライ

フ・エンジニアリング株式会社内

最終頁に続く

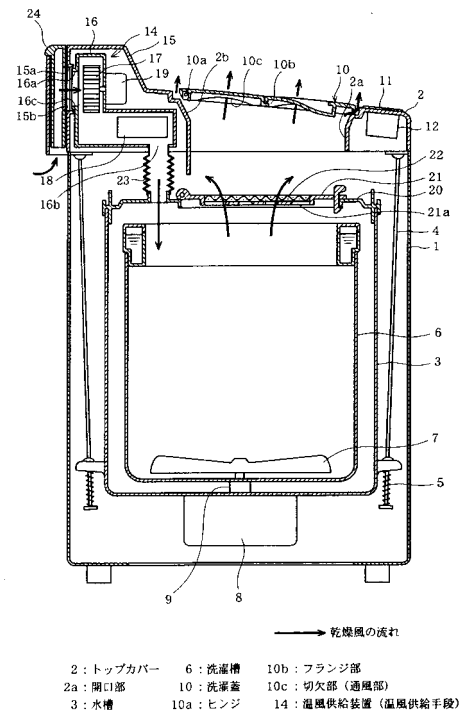
(54) 【発明の名称】 洗濯乾燥機

(57) 【要約】

【課題】 吸気および排気経路を確保し、乾燥効率の向上を図る。

【解決手段】 洗濯蓋10の周縁部に切欠部10cを設けることによって、トップカバー2との間に隙間を形成し、乾燥行程時において洗濯物に接し、高温多湿となった空気を上記隙間から本体外部に排出する構成とした。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

外箱と、
前記外箱内部に收容された水槽と、
前記水槽に收容され、洗濯物の洗濯、すすぎ、脱水及び乾燥に供する洗濯槽と、前記外箱上部に設けられ、洗濯物を出し入れする開口部を有したトップカバーと、
前記トップカバーの開口部を開閉可能に覆い、周縁にフランジ部が設けられた洗濯蓋と、
前記外箱外部から吸気する送風ファンと吸気した空気を加熱するヒータから成る前記洗濯槽への温風供給手段と
を具備し、
前記洗濯蓋は、前記温風供給手段からの温風を機外から排出する通風部をフランジ部に有することを特徴とする洗濯乾燥機。

10

【請求項 2】

洗濯蓋の通風部は、フランジ部を切り欠くことにより形成することを特徴とする請求項 1 記載の洗濯乾燥機。

【請求項 3】

洗濯蓋は、トップカバーに対して後面がヒンジにより開閉可能に設けられるとともに、前記洗濯蓋後面と対向するトップカバーとの間に連通路を形成すべく、トップカバーに逃げ部を形成することを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の洗濯乾燥機。

【請求項 4】

外箱と、
前記外箱内部に收容した水槽と、
前記水槽に收容され、洗濯物の洗濯、すすぎ、脱水及び乾燥に供する洗濯槽と、前記外箱上部に設けられ、洗濯物を出し入れする開口部を有したトップカバーと、
前記トップカバーの開口部を覆う洗濯蓋と、
前記トップカバー後方の開口部を閉塞するバックカバーと、
前記バックカバー内に設けられ、前記外箱外部から吸気する送風ファンと吸気した空気を加熱するヒータから成る前記洗濯槽への温風供給手段と
を具備し、
前記温風供給手段は、送風ファンとヒータ及びモータがユニットとして組込まれ、送風ファン用の吸気口が形成されたケーシングを有し、前記吸気口の周縁に形成した係合部とバックカバーの吸気口周縁に形成した被係合部とを互いに係合することにより、前記ケーシングが前記バックカバーに取付けられていることを特徴とする洗濯乾燥機。

20

30

【請求項 5】

ケーシングの吸気口周縁の係合部、バックカバー側の吸気口周縁の被係合部の少なくともいずれか一方の係合面を傾斜面としたことを特徴とする請求項 4 記載の洗濯乾燥機。

【請求項 6】

バックカバーの吸気口に対向して設けられた着脱可能なフィルターと、前記フィルターのメッシュ部外周に設けられた係合部と、前記バックカバー側の吸気口外周に設けられた被係合部とを具備し、前記係合部と前記被係合部が互いに係合するようにして、前記フィルターが前記バックカバーに取付けられていることを特徴とする請求項 4 又は 5 記載の洗濯乾燥機。

40

【請求項 7】

フィルター側の係合部、バックカバー側の被係合部の少なくともいずれか一方の係合面を傾斜面としたことを特徴とする請求項 6 記載の洗濯乾燥機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、温風供給手段を備え、機外から吸気し、機外へ排気するようにした洗濯乾燥機に関する。

50

【 0 0 0 2 】

【 従来 の 技 術 】

近年、洗濯物の洗濯、すすぎおよび脱水に加え、温風によって乾燥もできるようにした攪拌式の洗濯乾燥機が供されている。

【 0 0 0 3 】

従来技術による洗濯乾燥機は、機外の空気を吸気し内部のヒータにて加熱した後ファンにて温風を供給する温風供給装置を有し、脱水行程の終了後に洗濯槽の中の洗濯物に前記温風供給装置により温風を吹きつけ、かつ洗濯物を若干攪拌することにより乾燥させるようにしている。その際、湿った洗濯物に接することによって湿気を含んだ洗濯槽内の温風は、洗濯槽内および外箱内上部に滞留しつつ、外箱とトップカバーの隙間、洗濯蓋に設けた手掛部、水槽の周りを通して外箱下面の開口部等から排気することが一般的であった（例えば、特許文献 1 参照。）。 10

【 0 0 0 4 】

【 特 許 文 献 1 】

特開 2 0 0 0 - 2 7 1 3 7 7 号 公 報 （ 第 3 , 4 頁、図 1 ）

【 0 0 0 5 】

【 発 明 が 解 決 し よ う と す る 課 題 】

しかし、上記のような乾燥機能を設けた洗濯乾燥機においては、乾燥行程時に洗濯物からの湿気を含んだ温風の排出は、上記隙間等から必ずしも効率良く行われなため洗濯機内部に滞留しやすく、乾燥効率を低下させる要因となっていた。また、カラー鋼板等、板金からなる洗濯機の外郭を構成する外箱の内面に結露を生じ、その結露水が床を濡らす等、不具合を生じさせることもあった。さらに、上記した洗濯蓋の手掛部に排気穴を形成するものにおいては、埃等の侵入を許し易く、美観も損なってしまうばかりでなく、洗濯蓋直上に置かれた物により塞がれてしまうおそれもあった。 20

【 0 0 0 6 】

本発明は、上述の事情に鑑みてなされたものであり、従ってその目的は、スムーズに排気することにより乾燥効率を向上させるとともに、洗濯機内部に結露を生じさせず、洗濯機内部への埃等の侵入を防止しつつ、さらに美観を損ねることのない洗濯乾燥機を提供するにある。 30

【 0 0 0 7 】

【 課 題 を 解 決 す る た め の 手 段 】

上記の目的を達成するために、本発明の洗濯乾燥機は、第 1 の手段として、外箱と、前記外箱内部に収容された水槽と、前記水槽に収容され、洗濯物の洗濯、すすぎ、脱水及び乾燥に供する洗濯槽と、前記外箱上部に設けられ、洗濯物を出し入れする開口部を有したトップカバーと、前記トップカバーの開口部を開閉可能に覆い、周縁にフランジ部が設けられた洗濯蓋と、前記外箱外部から吸気する送風ファンと吸気した空気を加熱するヒータから成る前記洗濯槽への温風供給手段とを具備し、前記洗濯蓋は、前記温風供給手段からの温風を機外から排出する通風部をフランジ部に有することを特徴とする（請求項 1 の発明）。 40

【 0 0 0 8 】

このように構成されたものにおいては、洗濯物から水分を奪い、湿気を含んだ温風は、洗濯蓋のフランジ部に設けられた通風部、即ちトップカバーと洗濯蓋の隙間を通して排気されるため、洗濯乾燥機本体内に滞留することがない。従って、洗濯乾燥機上面の美観も損なうことなく、乾燥効率を向上させることができる。 40

【 0 0 0 9 】

さらに、上記の目的を達成するために、本発明の洗濯乾燥機は、第 2 の手段として、外箱と、前記外箱内部に収容した水槽と、前記水槽に収容され、洗濯物の洗濯、すすぎ、脱水及び乾燥に供する洗濯槽と、前記外箱上部に設けられ、洗濯物を出し入れする開口部を有したトップカバーと、前記トップカバーの開口部を覆う洗濯蓋と、前記トップカバー後方の開口部を閉塞するバックカバーと、前記バックカバー内に設けられ、前記外箱外部から 50

吸気する送風ファンと吸気した空気を加熱するヒータから成る前記洗濯槽への温風供給手段とを具備し、前記温風供給手段は、送風ファンとヒータ及びモータがユニットとして組込まれ、送風ファン用の吸気口が形成されたケーシングを有し、前記吸気口の周縁に形成した係合部とバックカバーの吸気口周縁に形成した被係合部とを互いに係合することにより、前記ケーシングが前記バックカバーに取付けられていることを特徴とする（請求項４の発明）。

【００１０】

このように構成されたものにおいては、温風供給装置のケーシングの吸気口とバックカバーの通気孔の開口位置を、夫々に設けた係合部を係合することにより正確に一致させることができ、もって外気をスムーズに吸気することができる。

10

【００１１】

【発明の実施の形態】

以下に、本発明による洗濯乾燥機の一実施例について図１ないし図３を参照して説明する。まず、図１は、洗濯乾燥機の全体構成を示す縦断側面図で、この図に示すように洗濯乾燥機本体は、四角筒状の金属製の外箱１と、この外箱１の上端開口に装着したトップカバー２とにより洗濯機本体の外殻を構成し、該外箱１の内部には水槽３を配置している。この水槽３は、外箱１上端から吊り下げた四本（二本のみ図示）の吊り棒４にばね５を介して弾性支持されており、この内部には洗濯槽６を回転可能に内設している。洗濯槽６の内底部には攪拌体７が設けられており、水槽３外底面に取付けられたモータ等から構成される駆動装置８により、回転軸９を介して洗濯槽６と攪拌体７が選択的に回転駆動されるようになっている。

20

【００１２】

前記トップカバー２は、前記洗濯槽６への洗濯物の出し入れが可能な開口部２ａを有するとともに、例えば二つ折り構造の洗濯蓋１０がその後面に設けられたヒンジ１０ａにより開閉可能に取付けられている。また、特に図２の斜視図に示すようにトップカバー２の前部上面には、洗濯乾燥機の運転操作をするための操作パネル１１を設けており、この操作パネル１１の下部内方には制御装置１２が配置されている。また、トップカバー２の後部上面には給水手段としての給水弁１３や温風供給手段としての温風供給装置１４などが配設されていて、着脱自在なバックカバー１５によってトップカバー２の後面開口部全体が覆われている。

30

【００１３】

上記温風供給装置１４は、全体を吸気口１６ａと吹出し口１６ｂを有するケーシング１６にてユニット化されていて、その内部には送風ファン１７とヒータ１８が設けられ、一方、前記送風ファン１７を駆動するモータ１９はケーシング１６の外面に取着されていて、回転軸を介して前記送風ファン１７と連結している。そして、ヒータ１８は送風ファン１７の風下側に配置されている。この温風供給装置１４を覆う前記バックカバー１５には温風供給装置１４の吸気口１６ａを塞がないように、これと対向する位置に通気孔１５ｂが形成されている。

【００１４】

また水槽３の上面には、水槽カバー２０が配設され、水槽カバー２０には、その中央の開口部分を開閉する内蓋２１が回転可能に設けられている。内蓋２１は、その略中央に例えば複数のスリット溝から成る開口部２１ａを形成しており、その開口部２１ａには、これを覆うように排気フィルター２２を着脱可能に設けている。また、水槽カバー２０にはケーシング１６の吹出し口１６ｂと連結した蛇腹状のダクト２３が接続されている。

40

【００１５】

さて、図３に示すように前記洗濯蓋１０の周縁には垂下壁状にフランジ部１０ｂが全周に亘って形成されており、その前後面および二つ折れ蓋の各側面のフランジ部１０ｂには、これを一部切り欠くようにして通風部である切欠部１０ｃを設けてあり、洗濯蓋１０を閉じた状態においてこれとトップカバー２との間に隙間、いわゆる通風部が形成されるようになっている。

50

【 0 0 1 6 】

またトップカバー 2 には、その開口部 2 a における前記洗濯蓋 1 0 のヒンジ 1 0 a に沿った壁面に、これと洗濯蓋 1 0 とで形成される隙間に向けた連通路となす傾斜面 2 b を形成することにより、開口部 2 a の上部にいわば逃げ部が形成されて、洗濯蓋 1 0 との隙間への入口が広がるため、更に湿気を含んだ温風を機外に排出しやすくすることができる。あわせて、これと対向する洗濯蓋 1 0 側のフランジ部 1 0 b 端を前記トップカバー 2 の傾斜面と略平行に傾斜させたエッジ形状とすると、この効果を一層高めることができる。

【 0 0 1 7 】

加えて、図 1 に示す温風供給装置 1 4 のケーシング 1 6 には、吸気口 1 6 a の外周を囲むように係合部 1 6 c を凸リング状に形成している。そして、これと対向するバックカバー 1 5 側には、その通気孔 1 5 b の外周にこれも凸リング状の被係合部 1 5 a を、前記係合部 1 6 c と係合できるよう若干径大に形成している。従って、温風供給装置 1 4 のケーシング 1 6 とバックカバー 1 5 とが、前記係合部 1 6 c と被係合部 1 5 a とで係合することで位置決めされるようになっている。なお、バックカバー 1 5 には、その通気孔 1 5 b を覆うように着脱可能に設けたフィルターたるフィルターケース 2 4 を有している。該フィルターケース 2 4 には通気孔 1 5 b に対向した位置にメッシュ部 2 4 a が設けられ、該メッシュ部 2 4 a は前記排気フィルター 2 2 と比較すると粗い目となっている。

【 0 0 1 8 】

また、温風供給装置 1 4 のケーシング 1 6 の係合部 1 6 c とバックカバー 1 5 に設けた被係合部 1 5 a とを互いに係合させたことにより、両吸気口部の開口位置を正確に一致させることができ、もって外気をスムーズにかつ洩れなく吸気することができる。

【 0 0 1 9 】

この様に構成された洗濯乾燥機の作用につき説明すると、操作パネル 1 1 を操作することにより洗い・すすぎ・脱水の各行程を順次実行するようになっている。まず洗い行程においては、洗濯槽 6 内に洗濯物を投入した後に、洗剤と共に水道水を給水弁 1 3 を介して洗濯槽 6 内に供給し、所定の水量を貯水する。そしてその後に攪拌体 7 を駆動装置 8 により自動回転などして回転駆動することにより洗濯物を攪拌し、もって洗濯物の汚れを落とす洗い行程が実行される。

【 0 0 2 0 】

この洗い行程が終了すると、排水した後に、洗濯槽 6 を高速回転させて中間脱水が行なわれる。これにより洗剤分を含んだ洗濯液の大半が洗濯物から搾り出されて機外へ排出され、もってその次のすすぎ行程を効率良く短時間にも済ませることができるようにしている。そのすすぎ行程も、基本的に前記洗い行程と同様にして行なわれる。

【 0 0 2 1 】

そしてすすぎ行程が終了すると、次には仕上げの脱水行程が洗濯槽 6 を高速回転させることにより実行され、もって洗濯物は脱水された状態となる。

【 0 0 2 2 】

さて、このようにして脱水行程まで完了した洗濯物を乾燥するにあたり、本発明による洗濯乾燥機の乾燥行程の動作を以下に説明する。

【 0 0 2 3 】

乾燥行程では、まず温風供給装置 1 4 におけるモータ 1 9 の駆動により送風ファン 1 7 が回転し、これによってバックカバー 1 5 の通気孔 1 5 b とケーシング 1 6 の吸気口 1 6 a を通して外箱 1 の外部から温風供給装置 1 4 内に空気が取り込まれる。なお、図 1 中に空気および温風たる乾燥風の流れを矢印で示している。その後、ケーシング 1 6 内を通風路に沿って送られた空気はヒータ 1 8 によって加熱され、ダクト 2 3 を通じて洗濯槽 6 内に温風として供給される。この温風は、洗濯物と接するうちに洗濯物中の水分に気化熱を与えることにより洗濯物から蒸発させ、もって水分を奪うため温風は湿気を含んだ状態になる。その結果、暖かくかつ湿った空気となった温風は洗濯槽 6 内を上昇し、内蓋 2 1 に設けられた開口部 2 1 a と排気フィルター 2 2 とを通過して洗濯槽 6 外に排出され、そして、洗濯蓋 1 0 周縁部のフランジ部 1 0 b に設けた切欠部 1 0 c とトップカバー 2 との間に

形成された隙間から機外に自然排気される。この様に、乾燥行程における湿った温風は、従来では主に洗濯蓋 10 と内蓋 21 との間の空間に滞留し勝ちであったが、本実施例によれば洗濯蓋 10 の周りの広範囲の隙間から速やかに排出され、もって外箱 1 内に温風が滞留することを極力防止できる。

【0024】

よって、外箱 1 内部に湿った温風が滞留しないから、金属製で熱交換し易い外箱 1 の裏面が湿気により結露するという状態も未然に防止できる。また、洗濯槽 6 内の湿気を含んだ温風をスムーズに排出することで、代わって新たな温風の導入を促し、全体として温風の流れを良好にし乾燥効率を向上させることができる。更には、乾燥に寄与した後の湿気を帯びた温風の排出は、洗濯蓋 10 周りのフランジ部 10b の切欠部 10c を利用とすること
10

（変形例）

次に、図 4 は本発明の変形例を示す要部の拡大断面図で、このものは、温風供給装置 14 のケーシング 16 に設けた係合部 16d の外周面と、バックカバー 15 の通気孔 15b 外周に設けた被係合部 15c とが係合する内周面を互いに傾斜面とした構成にある。この結果、組立時にバックカバー 15 のケーシング 16 への挿入作業性がよくなる。

【0025】

また、上記と同様に、フィルターとしての前記フィルターケース 24 のメッシュ部 24a の外周にも凸リング状の係合部 24b を設けるとともに、これと対向するバックカバー 15 面側の通気孔 15b 外周に設けた被係合部 15d とを互いに係合させるべく、係合部 24b を若干径大な構成にした。この場合、両係合部 15d、24b の内外両面を共に傾斜面とすると、フィルターケース 24 のバックカバー 15 への脱着が上下方向であることから、傾斜面により両者の係合・離脱がスムーズに行なわれ、もってフィルターケース 24 のメッシュ部 24a とバックカバー 15 の通気孔 15b の両開口位置を正確に一致させることができ、もって外気をスムーズにかつ洩れなく吸気することができる。
20

【0026】

なお、本発明は上記しかつ図示した実施例に限らない。洗濯蓋のフランジ部の切欠部については、洗濯蓋のフランジ部において内外を連通させるものであればよく、例えばフランジ部に開けた穴でもよい。また、洗濯蓋は二つ折り構造に限らず、フィルター構造も種々
30

【0027】

【発明の効果】

以上述べたように、本発明によれば洗濯蓋の周縁フランジ部とトップカバーとの通風部から、槽内の温風を機外へスムーズに排気することが可能であるので、本体上面に置かれた物で排気口を塞がれることもなく、美観を損なうことなく乾燥の効率を高めることができる。

【0028】

また、温風供給手段を構成するケーシングの吸気口、バックカバーの通気孔、フィルターケースのメッシュ部の三者の開口位置を、夫々に設けた係合部を係合することにより正確に一致させることができ、もって外気をスムーズに吸気することができるという著効を奏する洗濯乾燥機を提供するものである。
40

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明による洗濯乾燥機の全体構成を示す縦断側面図

【図 2】要部の洗濯蓋を閉めた状態の斜視図

【図 3】要部の洗濯蓋を開いた状態の斜視図

【図 4】本発明の変形例を示す要部の拡大断面図

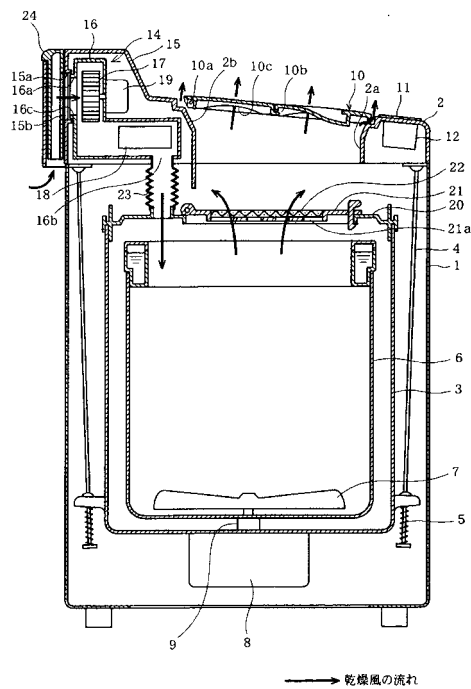
【符号の説明】

1 外箱

- 2 トップカバー
- 3 水槽
- 6 洗濯槽
- 10 洗濯蓋
- 10b フランジ部
- 10c 切欠部（通風部）
- 14 温風供給装置（温風供給手段）
- 15 バックカバー
- 15a、15c、15d 被係合部
- 16 ケーシング
- 16a 吸気口
- 16d 係合部
- 17 送風ファン
- 18 ヒータ
- 19 モータ
- 24 フィルターケース（フィルター）
- 24a メッシュ部
- 24b 係合部

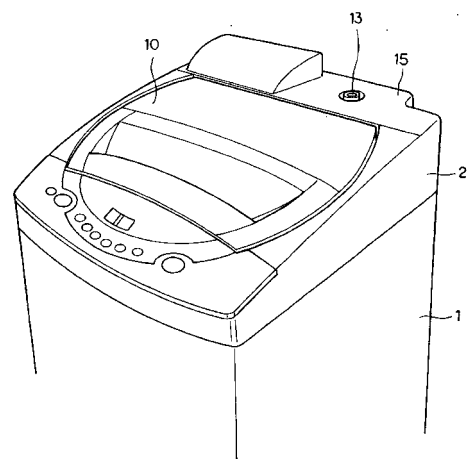
10

【図 1】

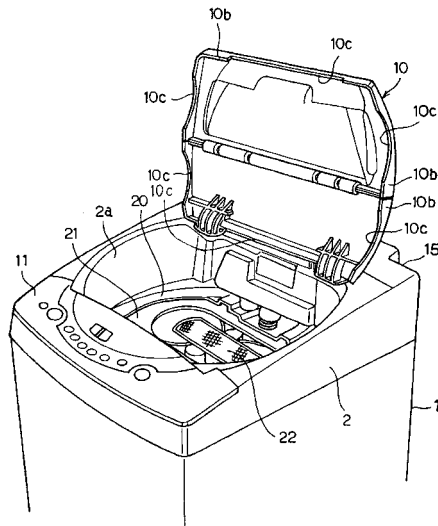


- | | | |
|-----------|----------|--------------------|
| 2: トップカバー | 6: 洗濯槽 | 10b: フランジ部 |
| 2a: 開口部 | 10: 洗濯蓋 | 10c: 切欠部（通風部） |
| 3: 水槽 | 10a: ヒンジ | 14: 温風供給装置（温風供給手段） |

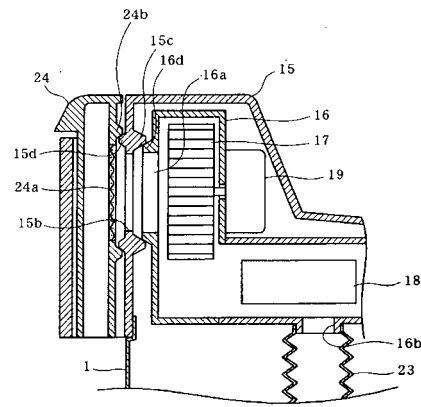
【図 2】



【図 3】



【図 4】



- 15 : バックカバー
 15c, 15d : 接合部
 16 : ケーシング
 16a : 吸気口
 16d, 24b : 係合部
 17 : 送風ファン
 18 : ヒータ
 24 : フィルターケース (フィルター)
 24a : メッシュ部

【手続補正書】

【提出日】平成15年3月14日(2003.3.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

外箱と、

前記外箱内部に収容された水槽と、

前記水槽に収容され、洗濯物の洗濯、すすぎ、脱水及び乾燥に供する洗濯槽と、前記外箱上部に設けられ、洗濯物を出し入れする開口部を有したトップカバーと、

前記トップカバーの開口部を開閉可能に覆い、周縁にフランジ部が設けられた洗濯蓋と、

前記外箱外部から吸気する送風ファンと吸気した空気を加熱するヒータから成る前記洗濯槽への温風供給手段とを具備し、

前記洗濯蓋は、前記温風供給手段からの温風を機外へ排出する通風部をフランジ部に有することを特徴とする洗濯乾燥機。

【請求項2】

洗濯蓋の通風部は、フランジ部を切り欠くことにより形成することを特徴とする請求項1記載の洗濯乾燥機。

【請求項3】

洗濯蓋は、トップカバーに対して後面がヒンジにより開閉可能に設けられるとともに、前記洗濯蓋後面と対向するトップカバーとの間に連通路を形成すべく、トップカバーに逃げ部を形成することを特徴とする請求項1又は2記載の洗濯乾燥機。

【請求項 4】

外箱と、

前記外箱内部に収容した水槽と、

前記水槽に収容され、洗濯物の洗濯、すすぎ、脱水及び乾燥に供する洗濯槽と、前記外箱上部に設けられ、洗濯物を出し入れする開口部を有したトップカバーと、

前記トップカバーの開口部を覆う洗濯蓋と、

前記トップカバー後方の開口部を閉塞するバックカバーと、

前記バックカバー内に設けられ、前記外箱外部から吸気する送風ファンと吸気した空気を加熱するヒータから成る前記洗濯槽への温風供給手段と

を具備し、

前記温風供給手段は、送風ファンとヒータ及びモータがユニットとして組込まれ、送風ファン用の吸気口が形成されたケーシングを有し、前記吸気口の周縁に形成した係合部とバックカバーの吸気口周縁に形成した被係合部とを互いに係合することにより、前記ケーシングが前記バックカバーに取付けられていることを特徴とする洗濯乾燥機。

【請求項 5】

ケーシングの吸気口周縁の係合部、バックカバー側の吸気口周縁の被係合部の少なくともいずれか一方の係合面を傾斜面としたことを特徴とする請求項 4 記載の洗濯乾燥機。

【請求項 6】

バックカバーの吸気口に対向して設けられた着脱可能なフィルターと、前記フィルターのメッシュ部外周に設けられた係合部と、前記バックカバー側の吸気口外周に設けられた被係合部とを具備し、前記係合部と前記被係合部が互いに係合するようにして、前記フィルターが前記バックカバーに取付けられていることを特徴とする請求項 4 又は 5 記載の洗濯乾燥機。

【請求項 7】

フィルター側の係合部、バックカバー側の被係合部の少なくともいずれか一方の係合面を傾斜面としたことを特徴とする請求項 6 記載の洗濯乾燥機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

【課題を解決するための手段】

上記の目的を達成するために、本発明の洗濯乾燥機は、第 1 の手段として、外箱と、前記外箱内部に収容された水槽と、前記水槽に収容され、洗濯物の洗濯、すすぎ、脱水及び乾燥に供する洗濯槽と、前記外箱上部に設けられ、洗濯物を出し入れする開口部を有したトップカバーと、前記トップカバーの開口部を開閉可能に覆い、周縁にフランジ部が設けられた洗濯蓋と、前記外箱外部から吸気する送風ファンと吸気した空気を加熱するヒータから成る前記洗濯槽への温風供給手段とを具備し、前記洗濯蓋は、前記温風供給手段からの温風を機外へ排出する通風部をフランジ部に有することを特徴とする（請求項 1 の発明）。

フロントページの続き

Fターム(参考) 3B155 AA16 AA22 BA23 BA29 BB19 CB07 CB33 CB49 CB52 CB55
CB56 DA03 DA05 MA01 MA02